FOREST RESEARCH, KYOTO

No. 70

December, 1998

THE KYOTO UNIVERSITY FORESTS

KYOTO, JAPAN

森 林 研 究

第70号

京都大学大学院農学研究科附属演習林 1998.12

「森林研究」の発行にあたって

本学演習林では、学術研究の成果の発表の場として「演習林報告」を刊行してまいりましたが、このたび誌名を改め「森林研究」とし刊行を続けることになりました。「演習林報告」の第1号が刊行されましたのは、昭和5年(1930年)であり、その後ほぼ毎年刊行され平成9年には第69号が出されました。演習林と共に歩んだながい歴史をもつ「演習林報告」の号数は、そのまま受け継ぐことになりました。

演習林は農学部附属の教育研究施設として重要な役割を果たしてきましたが、時代と共に森林に対する認識も変化を続け、木材資源の生産に重点が置かれてきた従来の考え方から、近年は生活環境や自然環境を保全する森林の機能が強く期待されるようになってきました。もちろん今後とも森林資源の生産は重要な課題でありますが、このような時代の変化と共に、森林に関する研究も幅広い分野にわたるようになってきました。

平成7年度から始まった大学院重点化に向けた農学部改組により、森林科学専攻が新たに編成され、平成9年度に改組が完了するにともない、それまで農学部附属であった演習林は、平成10年度に農学研究科附属演習林へと改組されました。

「森林研究」への誌名の変更は、このような流れに沿って、森林に関わるより広い課題に関する研究成果を、より広い分野の研究者から寄稿していただくことを願い編集方針を検討し、投稿規定を改訂するとともに誌名を改めたものであります。

なお編集委員会では、今後さらに本紙の掲載論文が、より高い評価が得られるよう編集方法等についても検討を続けていく所存ですので、関係各位のご批判とご協力をお願い申し上げる次第であります。

編集委員長 川那辺 三郎

森林研究

第70号

目 次

一論	文一	
太田芝	照久 正己	DEAを用いた国有林における施業効率性評価
		芦生演習林内トヒノ谷における地下水位、パイプ流量、流域流量の関係 9
永安 増田 仲村	哲也 稔 匡司	室内空間における木材率及び広さがイメージに与える影響 ログハウスのロフトにおける実験
山根 増田 仲村	力 稔 匡司	色彩の心理イメージ効果 縞の 2 色の組合せとイメージの関係
竹田 渡辺	史数 晋也 弘之 n JAMR	タイ東北部におけるユーカリ農家林経営の収益性35 OENPRUCKSA
増田 藤井携	稔 操一郎	住宅における外壁タイルの好まれる寸法形状43
松下	幸司	林業におけるBSIの利用に関する研究(Ⅱ) — 日本木材総合情報センターによる原木市場調査結果について—
長谷川 武田	成明 博清	ヤマハンノキの果実充実過程の当年枝を単位とした解析61
野瀬	光弘	バーク堆肥生産の変遷と現状69
枚田	邦宏・	松下 幸司・川村 誠 古本 浩望・佐藤 修一 吉尾 紀彦・田口 標 一京都大学北海道演習林の天然林成長率について— 77

FOREST RESEARCH, KYOTO

No. 70

CONTENTS

-Articles-

Teruhisa OHTA Masami SHIBA	Managerial assessment in national forest using Data Envelopment Analysis (DEA)	1
Taro UCHIDA Ken'ichirou KOSUGI Takahisa MIZUYAMA	Analysis of the relationship between groundwater level, discharge rate of pipeflow and stream flow at Toinotani	9
Tetsuya NAGAYASU Minoru MASUDA Masashi NAKAMURA	Effect of Wood Ratio and Area in Interior Space on the Psychological	19
Chikara YAMANE Minoru MASUDA Masashi NAKAMURA	Effects of Colors on Psychological Images —Relation between Psychological Images and the Combinations of Two Colors in Stripes—	29
Fumikazu UBUKATA Shinya TAKEDA Hiroyuki WATANABE Monton JAMROENPRUCI	The Profitability of Eucalyptus Farm Forest in Northeast Thailand	35
Minoru MASUDA Soichiro FUJII	Preference of Tile Sizes for Exterior Wall of Houses	43
Koji Matsushita	The Business-Survey-Index in Forestry (II) —A Case Study on Indexes of the Log-Auction Market by Japan Wood-Products Information and Research Center—	51
Shigeaki Hasegawa Hiroshi Takeda	Maturation process of fruits of alder (Alnus hirsuta var. sibirica)	61
Mitsuhiro NOSE	Development of composted bark production and its present situation	69
Michiyuki TAKEUCHI, Makoto KAWAMURA, I Hiromochi FURUMOTO Erina TAKAHASHI, No Kozue TAGUCHI	Kunihiro HIRATA Studies on Dynamics of Natural Forest (IV) -Growth Rate of Natural Forests of Kyoto University	77

基林研究 第70号 編集委員会

超集委員長:川那辺三郎 林長 教授 森林科学専攻

編集委員:岩井 吉彌 教授 森林科学専攻

中坪 文明 教授 森林科学専攻

增田 稔 教授 森林科学専攻

水山 高久 教授 森林科学専攻

吉田 博宣 教授 森林科学専攻

武田 博清 教授 地域環境科学専攻

大畠 誠一 教授 演習林

竹内 典之 教授 演習林

安藤 信 助教授 演習林

芝 正己 助教授 演習林

柴田 昌三 助教授 演習林

FOREST RESEARCH, KYOTO No. 70

Editor-in-Chief

Saburo KAWANABE Director of the University Forests, Professor, Division of Forest and

Biomaterials Science

Editorial Board

Yoshiya IWAI Professor, Division of Forest and Biomaterials Science

Fumiaki NAKATSUBO Professor, Division of Forest and Biomaterials Science

Minoru MASUDA Professor, Division of Forest and Biomaterials Science

Takahisa MIZUYAMA Professor, Division of Forest and Biomaterials Science

Hironobu YOSHIDA Professor, Division of Forest and Biomaterials Science

Hiroshi TAKEDA Professor, Division of Environmental Science and Technology

Seiichi OHATA Professor, University Forests

Michiyuki TAKEUCHI Professor, University Forests

Makoto Ando Associate Professor, University Forests

Masami Shiba Associate Professor, University Forests
Shozo Shibata Associate Professor, University Forests

平成10年4月9日制定

1. 投稿資格

投稿者は下記の者とする。

- (1) 京都大学に所属する教職員。
- (2) 上記以外の者で「森林研究」編集委員会(以下「編集委員会」という。)が認めた者。

2. 投稿原稿の種類

- (1) 投稿原稿は、和文または英文とし、未発表のものに限る。
- (2) 投稿原稿の種類は次のとおりとする。
 - 1)論文:森林科学に関する理論的または実証的な研究・技術の成果であって、独創性があり、論文として完結した体裁を整えているもの。
 - 2) 短報:森林科学に関する研究・技術の成果であって、予報的または速報的な内容の論文に準ずる報告。
 - 3) 総説:森林科学に関する研究・技術動向についての評論、検討、解説であって、研究の向上・促進に資すると認められるもの。

3. 原稿の長さ、体裁

原稿の長さは、表、図および写真等すべてを含む刷り上がりが、原則として論文、総説については10ページ以内、 短報は4ページ以内とする。ただし、編集委員会が認めた場合は上記ページ数を超過することができる。 なお、刷り上がり1ページは和文で約2600字、英文で約5200字に相当する。

4. 原稿の提出

- (1) 原稿は執筆要領に従って作成し、図、表、写真を含む全文のコピー3部と投稿連絡表を「森林研究」編集委員会事務局に提出する。
- (2) 原稿の受理日は、編集委員会が掲載を決定した日とする。
- (3) 原稿受理通知後は、編集委員会の指示に従い、最終原稿本文(図、表、写真の題名と説明文を含む)とそのフロッピーディスク(MS-DOSフォーマットされたテキストファイル)を提出すること。
- (4) 最終原稿の締切日は編集委員会の指定した日とする。

5. 投稿原稿の校閲と採否

投稿原稿の校閲は編集委員会で委嘱した学内外の校閲者 2 名が行い、校閲結果に基づいて編集委員会が原稿の採 否を決定する。

6. 校正

著者校正は2校までとし、文章、文字等の誤植の訂正にとどめ、加筆、図表などの内容の変更は原則として認めない。

7. 原稿の返却

原稿は著者に返却しない。ただし、投稿時に申し出があれば印刷終了後、原本と原図表、写真を返却する。

8. 印刷に関する著者の経費負担

印刷経費(別刷り50部を含む)は無料とするが、カラー印刷、超過ページおよび50部を超える別刷りの実費は著者の負担とする。

ただし、印刷経費が予算を超過した場合は、投稿原稿のページ数に応じて著者負担とする場合がある。

9. その他

原稿の送付、その他編集についての問い合わせ先は下記のとおりである。

問い合わせ先:京都大学大学院農学研究科附属演習林計画掛

TEL: 075-753-6420 FAX: 075-753-6451

E-mail: keikaku@kais.kyoto-u.ac.jp

従来の「京都大学農学部演習林報告」は第70号から「森林研究」と改名し、号数は継続踏襲した。

Formerly titled: BULLETIN OF THE KYOTO UNIVERSITY FORESTS. The Bulletin has a new name: "FOREST RESEARCH, KYOTO". The Volume number, however, continues in sequence following the former title. Thus, the new volume starts from No.70. Correspondence regarding this Journal should be addressed to the Headquaters of Kyoto University Forests, Kyoto University, Kitashirakawa, Sakyo-ku, Kyoto 606-8502, Japan.

「森林研究」誌名の略記法

和 文:森林研究

英文:FOR.RES.,KYOTO

平成10年12月28日 印刷 平成10年12月28日 発行

京都大学大学院農学研究科 発行所 附属演習林 京都市左京区北白川追分町

印刷者 田 中 久 代

印刷所 京都市下京区松原通麸屋町東入

